

2013～2014年度

# 大磯ロータリークラブ会報

ロータリーを  
実践し



みんなに  
豊かな人生を

★事務所：神奈川県中郡大磯町国府本郷546大磯プリンスホテル内 TEL：0463-61-1111(木) TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：毎週木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281

会長 鈴木 勝

会長エレクト 守屋 紀忠

幹事 守屋 紀忠

## 第2257回 例会

平成25年11月7日 (晴) No.17

■司会：大藤 勉

■点鐘：新宅 文雄

■合唱：君が代・奉仕の理想

◇プログラム・11月14日：11月10日宿場まつりに例会変更 ・11月21日：休会 ・11月28日：大堀 昭二さん

◇出席報告

例会	会員数	出席数	出席率	メークアップ	修正出席率
2257回	18(15)	9	60.00%	—	—
2255回	19(15)	19	100.00%	—	—

◇欠席者(6名)小林 宮澤、片野、原(千)、太田、原卓さん

◇メークアップ(0名)

◇誕生日祝



齋藤正淳さん(11/7)

私の誕生日がロータリーの例会日と一緒にするのは珍しい事です。81歳になりました。考えちゃいますね！遊び欲、色欲、食欲は減って睡眠欲のみ大きくなり8時には眠くなります。もっと若い時に沢山しておけば良かった…。若い皆さんしっかりやって置いて下さい。

◇ひとこと

笹尾 政儀さん

**日本軍の規律:**旧日本軍少尉の小野田寛郎さん(七十四歳)が二十二年ぶりにフィリピンのルパン島に里帰りした。同島の西ミンドロ州はこの日を特別休日とし、町では住民が大歓迎をした。



1974年二月ルパン島の密林から小野田さん当時五十二歳が救出されたが、小野田さんは終戦を知らず、終戦後二十八年七ヶ月もジャングルに潜んでいて、「上官の命令」がない限り、任務を離れられな

かった。そこで元上官が現地に入り、小野田さんに復員命令を下達し、漸く復員した。然し何故二十八年間も任務を続けたのか？その不可解さは若い人には理解出来ないでしょうが、日本軍隊の規律を元軍人か年配の方なら納得すると思う。

私もその経験があります。行軍の途中、突然伏せの命令が出た時、前が水溜まりであったのでそれを避けて伏せたところ、後で大きな小言を喰いました。「お前は戦死した！」。

もし小野田さんが終戦を知らず、そのまま過ぎてしまったら、自決しただろうと思います。

小野田さんより二年前に元軍曹の横井庄一さん当時五十六歳は現地の人に発見されるまで「生きて虜囚の辱めを受けず」の一念で敗戦を知らず隠れていたというのでした。

部下がなかなか言うことをきかないと、俺の命令は天皇陛下の命令である(天皇陛下がそんな命令を出す筈はないのですが)と言われました。何かというと直ぐ天皇陛下を出す、そういう時代でありました。

日本の人間国宝になられた我がクラブのメンバーであった永山茂さんが刀剣についてよく軍隊で話をしてくれと頼まれたそうです。

ところが話の最中、将校連中が、がやがやと私語が多くて聞いてくれず、困った時、永山さんが思い出して「○○天皇は刀剣について非常に関心をお持ちで・・・」と言うと、天皇と聞いた将校達が、たちまちびしっと姿勢を正して、永山さんの話をよく聞いてくれたという話を聞きました。永山さんはもうあの世へ行かれましたが、日本の軍隊の規律は大変厳しいもので、命令に対してこちらが何かを言っても絶対駄目で、命令は絶対守らなければならないものでした。

### ◇会長報告

百瀬 恵美子代理

今日は、先週は新宅さん代理を務めて頂いて有り難うございました。

1. 先週の理事会報告は守屋幹事さんお願い致します。

2. 及川会員から退会願いがありましたので、今朝守屋幹事と一緒に会いまして参りました。個人に事情とロータリーに対する思いを聞いて参りました、本人の強い意志もあり、残念ながら退会を承認しました。及川さんが入会されて11月30日が丸8年になるので、30日付けで退会届が出ます。今後色々なイベントには招待したい。又普段会われた時は今までのようにお付き合い願います。将来是非帰って来て欲しいと願っています。

3. 大磯、国府両中学校へ救急救命キット贈呈セレモニーを11月19日(火)10:00より大磯町役場公室で行います。出来るだけ多くのご参加をお願いします。レールダール・ケミカル社の協力も得、マスコミの取材も依頼したいと考えています。

4. 12月19日年次総会を行います。その後クリスマスディナーショー=ツートン青木ショーを見る事に決めました。

### ◇幹事報告

守屋 紀忠幹事

療養中の鈴木さんを訪れました。4週間服薬、2週間置いて又服薬を繰り返しており、4週間はきつい。当分は仕事は出来ない状況と言っていました。

1. 本日は食事後神奈川県防災センターを見学します。玄関集合・出発します。

2. 11月14日の例会は11月10日の宿場まつりに変更



します。AM:9:00集合、車の進入時間は8:30までです。笹尾さん隣の駐車場に5台分準備

3. 11月21日は定款適用で休会です。

4. 11月28日の卓話は大堀先生です。

5. 11月のロータリーレートは1ドル100円。6. 例会変更:平塚南RC

7. ロータリーの友、ガバナー月信配布。

8. ロータリアン誌回覧

9. 理事会報告:

(1)次年度理事役員:次回リスト配布し、総会で承認を得ます。

(2)新年会=二宮RCと合同例会=場所はパーティオ1月16日(木)。アトラクションは次回理事会で決定します。

### ◇委員会報告

☆河本親秀さん:

1. 先程ワイアナエ・コーストRCから頂いたカレンダーと会報を回覧しました。これがバナーです。先日Kay Baxterさんとお会いした時の報告を11月26日に纏めて報告されるとのことです。今後の交流については無理せず長期的にやりたいと申し上げてあります。

2. 先週2590地区から5名のお客様が来られました。その中の中村近宏さん(川崎RC)が川崎名物の煎餅を届けて下さいました(全員に配布)。その上お礼状とニコニコボックスに5千円の献金がありました。「先日は大変お世話になりました。(5人も)改めて例会の勉強になりました。又折を見て出席させて下さい。当クラブ会員の川崎名物のおせんべい、私は日本一の味だと思っています。一口ずつですが、御礼まで。」



### ☆スマイルボックス

井上 浩吉さん

・百瀬 恵美子さん:

斎藤先生お誕生日記念日おめでとうございます。卓話は総合防災センターへ視察します。

・守屋 紀忠さん: 斎藤先生、誕生日おめでとうございます。

・河本 親秀さん: 斎藤先生 お誕生日おめでとうございます。

・笹尾 政儀さん: 斎藤正淳さんの御誕生日を祝福します。

・新宅 文雄さん: 斎藤ドクター誕生日おめでとう



ございます。防災センター体験見学よろしくお願ひ致します。

・井上 浩吉さん：斎藤先生、誕生日おめでとうございませう。

・斎藤 正淳さん：今日 11月7日 で 丁度81歳になりました。いたずらに馬齢を重ねている思ひです。亡き父は82歳、祖父は92歳迄生きましたから 私は間をとって 87歳でしょうか。それ迄 よろしく御付合ひ下さい。

訃報：大藤勉さんより



私の前任者の杉山さんのお父様が亡くなられ、明8日にお通夜、9日に告別式が行われますので、宜しくお願ひ致します。(カルチャーボンドにて)

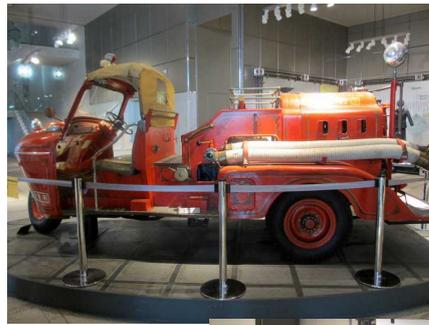
以上にて例回終了点鐘。

◇ 神奈川県防災センター(厚木)見学訪問

見学案内DVDを見た後、体験装置で地震(震度1~7)、台風(風速30km/h)を体験。消火器使用訓練を受けました。震度6、7を経験するのは参加者全員初めてで信じられない激しい揺れに度肝を抜かれました。台風も風速30km/hを直に受けるのは初めてで、手摺りに掴まって飛ばされないように皆頑張りました。確か中学校時代に風速30km/hの風圧は1平方メートルあたり1トンと聞いたことを思い出しました。その後防災に関する沢山の展示を見学、約1時間半の体験学習を終わりました。(河本記)



消防用具発達の歴史コーナーにて



消防用具の歴史を各時代に分けて解説。

昔の火消しが使った道具などを見ながら、消防の歴史が楽しく理解できます。



地震体験コーナー



※ここでは震度7までの地震体験ができます。

(東日本大震災の揺れを体験できます)

※突然の地震にあわてないためにも、いろいろな注意点を知っておきましょう。



水消火器を使って初期消火の体験

第2258回 例会 No.18



11月14日の第2258回例会は11月10日の大磯宿場まつり行事参加に変更し、会員は前日に朗多里座舞台の制作、観客席の設置を行いました。当日は8時集合、テントに大磯ロータリークラブ旗や国際ロータリーの旗を取り付けたり、観客接待用のお茶、ジュース、お菓子の準備をしました。当日は風が強く、曇りでしたが客足はよく、準備したお茶、ジュース、お茶菓子は全てお客様に完配しました。舞台演技終了直前3時頃に雨が降り出しましたが、幸い直ぐに止んで後片付けに入り、4時半片付け終了、解散しました。

昨年まで大磯RCは東京の落語家2名を招き、高座を提供していましたが、今年は大磯出身の明治・大正時代の演歌歌手・添田唾蟬坊の流れを汲む歌手=岡大介=を招き、当時の社会風俗を唄ったものや、政治批判の演歌などを午前、午後の2回の演奏を提供し、好評でした。



「大磯・宿場まつり」の様子  
東海道五十三次で江戸から数えて8宿目の大磯宿は、自然と歴史的財産を有する地。この財産を見直しながら、地域づくりに役立て、次の世代の財産にしようという同イベント。

